

「挨拶と地域の交流」

岩沼市立岩沼中学校 3年

佐久間 遼多さん

町の治安を守る上で、我々市民ができることはなんだと思いますか。私は挨拶と地域の交流だと考えます。

こんにちは。ハロー。ボンジュール。

これらの挨拶は、国境を越えても似たような意味を持ち、その意味は多様です。

私は幼い頃、母に挨拶をすることを躰られ、今も続けています。その時は、なぜ挨拶をするのかまでは考えませんでした。今、改めて挨拶をする理由について考えてみると、挨拶をする方もされる方も気持ちがよくなるからだということが思い浮かびます。

でも、警察官やお店の店員さんはすすんで挨拶していますが、見知らぬ通りすがりの人同士では挨拶をしない場合がほとんどです。理由としては、挨拶を返してくれるか不安だったり、別に挨拶をしなくてもよいと考えていたりといったところでしょうか。そんな私も、友達や知り合いとしか実は挨拶をしていません。

どのような理由で挨拶をしているのかと考えた時、最初に思いつくのは「印象を良くするため」です。しかし、その他に、インターネットで調べてみたところ、警察庁の「住まいる防犯 110 番」では、不審者が犯行を諦める要素として多いのが、「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた。」という項目でした。さらに、警視庁の「万引きに関する調査研究報告書」では「店員挨拶」が万引き防止のために有効だと示されています。

したがって、挨拶をすることで、存在承認をする、つまり不審者に対してあなたのことを見ているという気持ちにさせ、犯罪を未然に防ぐというわけです。

地域の交流についても似たことが言えます。

私の地域では、廃品回収やスポーツ大会、神輿巡行などを行っています。私はこれらの行事が楽しみで仕方がありません。実はこれらの地域活動にも犯罪を防止する心理があったのです。住民の交流が増えれば、挨拶も活発になり、不審にも敏感になるはずです。

挨拶は、社交辞令だけでなく、犯罪を防止・抑制する効果があります。そのためにも、無視せず、面倒くさがらずに進んで挨拶することが大切です。

また、新型コロナウイルスの影響でほとんどの行事が中止になりました。このことが更に続くと、地域交流ができず、犯罪が増えかねません。長期的に見ても中止になりにくい地域活動を続けていくことが、防犯につながっていくはずですよ。